



**MSC クルーズ ピエールフランチェスコ・ヴァーゴ、
CLIA のグローバルチェアマンに就任**



2021 年 1 月 26 日 ワシントン DC— MSC クルーズエグゼクティブチェアマンのピエール・フランチェスコ・ヴァーゴは、クルーズライン国際協会（CLIA）のグローバルチェアマンに就任することを発表しました。任期は 2 年間であり、即時就任する予定です。

就任発表を受け、CLIA のプレジデント兼 CEO のケリー・クレイグヘッド氏はコメントし、「この度のご就任に際してお祝いを申し上げ、心より歓迎致します。グローバルなクルーズ業界でヴィジョンを掲げ、リーダー的存在であるヴァーゴ氏のアイデア、知見、方向性から多くの恩恵を受け、今後、COVID-19 パンデミックの影響を乗り越え、世界、とりわけ米国市場でのクルーズ運航再開につながると期待しています。」と述べました。

ピエール・フランチェスコ・ヴァーゴは 2003 年から 2013 年まで MSC クルーズの CEO を務め、就任中、会社成長率 800%以上を達成しました。ヴァーゴは現在、MSC クルーズエグゼクティブチェアマンとして会の成長を支え、MSC クルーズはクルーズ会社大手の一つとしての地位を獲得しました。MSC クルーズは現在、スイス・ジュネーブに本社を構え、ヴァーゴは 2014 年に CLIA ヨーロッパのチェアマンに就任し、今回、ヨーロッパ人として初めて CLIA グローバルチェアマンに就任します。

就任に際してヴァーゴはコメントし、「現在クルーズ業界は重要な分岐点に立っています。大切なゲストに思い出に残るクルーズの提供、経済の立て直し、世界中で多くの人々が恩恵を受けるクルーズ業界での雇用機会の創出に向けて現在、運航再開に取り組む中で、多くの仲間からの支援と信頼に感謝し、光栄に思います。昨年の夏以来、世界で 200 以上の出港が実現し、出港に際し、公衆衛生の促進を目的に厳重な対策が取られ、クルーズの運航再開は実現可能であることを証明して参りました。今後、CLIA のリーダーシップと関係者と共に前進し、活気あふれる未来を守り、その未来を担い所にする全ての人々のために力を尽くして参ります。」と述べました。

クルーズ業界、旅行業界にとって前例のない年を迎え、ヴァーゴは CLIA グローバルチェアマンに就任します。CLIA および CLIA 会員は引き続き、世界でのクルーズ運航再開と環境サステナビリティへの取り組みに向けて注力します。

また、CLIA グローバルチェアマンを 2 期務めたアダム・ゴールドスタイン氏は退任後、テクノロジー関連のスタートアップ、非営利団体の事業に携わります。

退任に際してゴールドスタイン氏はコメントし、「前例のない課題に直面した時期であったにも関わらず、任期中の 2 年間、共に達成できた全ての取り組みを誇りに思います。長く親交のあるヴァーゴ氏の今後のご活躍をお祈り致します。クルーズ業界という特別な業界は、今後もより良い方向に向かっていくと信じています。」述べました。

クルーズライン国際協会（CLIA）について

世界最大のクルーズ産業協会であり、会員の共同声明の発表とグローバルなクルーズコミュニティの第一権威として機能します。CLIA は年間 3000 万人以上のクルーズ乗船者に対してクルーズ旅行の促進のみならず、CLIA 会員および関係パートナーと共にクルーズ業界を代表して、安全、衛生的、持続可能なクルーズ運航の促進に向けての取り組みを担います。CLIA は現在、オーシャンクルーズ、リバークルーズ、スペシャリティクルーズの運航会社、訓練に参加し認証を受けた旅行代理店、クルーズ会社サプライヤー、パートナー、港湾関係者、寄港地関係者、船舶開発業者、その他サプライヤーおよびサービス関連事業者で構成されています。現在ワシントン DC にグローバル本部を構え、北米、南米、欧州、アジア、オーストラリアに支部を有します。

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先
株式会社 MSC クルーズジャパンマーケティング部
〒106-0032 東京都港区六本木 3 丁目 3 番 27 号スハラ六本木ビル 1F
電話: 03-6230-9104 FAX: 03-6230-9107
ウェブサイト(www.msccruises.jp)

弊社 MSCクルーズに戻る>>